毎年の検診受診が
早期発見・早期治療につながります！

-日本では2人に1人は“がん”にかかります-

簡単！
自宅で採取して
ポストに入れるだけ！



大腸がん検診　早期発見・早期治療でほぼ治癒します。

より精度が高い検査です

大腸がんは誰にでもかかるリスクがあります。

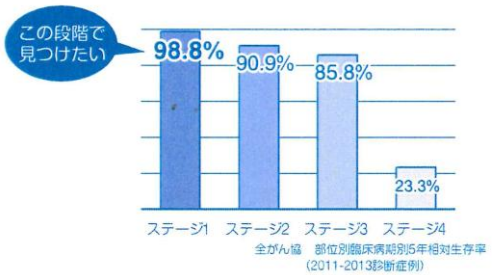
近年、食生活が欧米化し、特に食物繊維不足等により腸内環境が悪化し、がんが発生すると言われています。

▶最新の予測

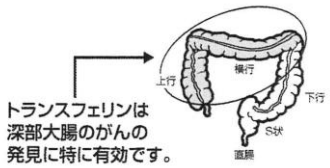
がん罹患者数	第1位
がんでの死亡原因	女性 第1位
	男性 第2位

出典：国立がん研究センター　がん情報サービス2024年のがん統計予測

早く見つけて、早く治す！



トランスフェリン（Tf）とヘモグロビン（Hb）、便中の2つの血液成分を測定します。Tfは腸内細菌や環境の変化の影響を受けにくく安定性が高いため、同時に測定することでより精度の高い検査となります。



トランスフェリンは深部大腸のがんの発見に特に有効です。

ＨＰＶ検査　子宮頸がんのリスクが分かります！

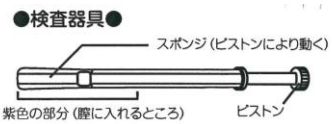
20～30歳代急増！

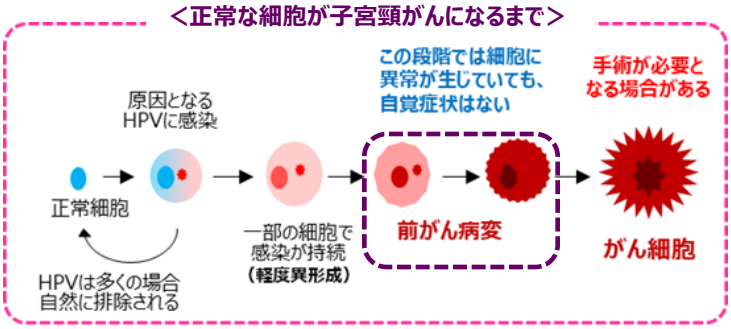
※妊娠中の方は申込みできません。

◆子宮頸がんはヒトパピローマウィルス（HPV）の持続感染が原因です。

子宮頸がんは初期では自覚症状がほとんどでませんので定期的な検診受診が重要です子宮頸がんのリスクを知り、がんの早期発見につなげましょう

検査は簡単！
専用器具を膣に入れ子宮頸部の細胞を自己採取します。





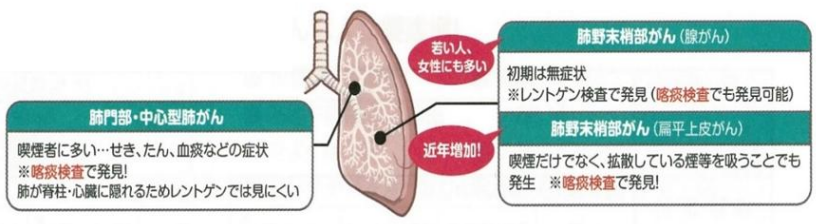
HPV検査とは・・子宮頸がんを引き起こす14種類のハイリスク型ヒトパピローマウイルスの感染の有無を調べる検査です。
がんになっていなくても感染していれば、将来病変が進行したり、子宮頸がんになる可能性があります。
（ハイリスク型HPVに感染していても必ず子宮頸がんになるわけではありません）

肺がん検診　がんの死亡者数　第1位！

※喀痰検査

アレルギー・咳喘息 COPDが気になる方も！

◆胸部レントゲン検査で見つかりにくいタイプのがんに有効です。
※喫煙者・喫煙経験者は胸部レントゲンとの併用をおすすめします。



<こんな人は受診を>

- □ 喫煙者である（であった）
- □ 受動喫煙が気になる
- □ 大気汚染（ＰＭ2.5など）が気になる
- □ 咳や痰、胸痛が続いている
- □ 50歳以上で喫煙指数が600以上
  （喫煙指数＝１日の喫煙本数×喫煙年数）

喀痰検査とは
痰の中に肺がんを疑う細胞がないかを調べる検査です。
肺がんだけでなく、アレルギー・喘息などの炎症性変化も発見できます。



容器の中に3日分の痰を採取します。
たん：
日常的に「たん」が出にくい方は、のどの奥の方からせきこんでいただき、その時にのどの奥から出てくるもので検査ができます
出にくい方は検査機関へお問い合わせください。

胃がんリスク検診　ピロリ菌で胃がん予防！

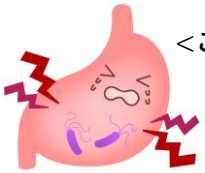
※血液検査

胃がんの主な原因はピロリ菌です

◆「ピロリ菌」感染が胃がんをひき起こします。

胃がんを引き起こす「ピロリ菌」感染の有無と胃粘膜の萎縮の程度が分かる「ペプシノゲン値」を調べ、胃の健康度（胃がんリスク度）を層別化する検査です。**結果が陽性の方は除菌治療をして、胃がんを予防しましょう**

除菌は早めが効果的



＜こんな方は受診を！＞

・胃の調子が悪い
・家族に胃・十二指腸潰瘍にかかった人がいる

ピロリ菌除菌治療　成功

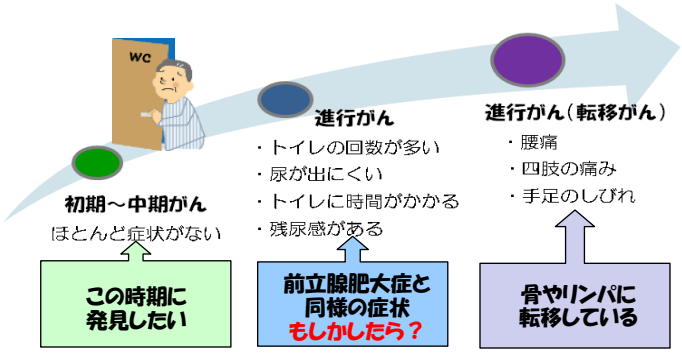
胃炎がありましたが、除菌が成功し、現在は異常を感じず健康に過ごしています。無料で、さらに自分でできる検査をさせていただき大変助かりました。50代　女性

前立腺がん検診　男性の罹患者数 第1位！　50歳から年に一度は受診を！

※血液検査

◆血液中のPSAという物質の量を調べることで前立腺の異常を見つける検査です。がんの場合にはその８１％を発見できる非常に有効な方法です。

◆前立腺がんはサイレントキラー！と言われ、初期には症状がほとんど出ません。自覚症状のない**初期に発見**し、**適切な治療**をすることが大切です。



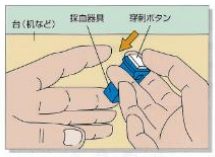
※血液検査の注意事項（胃がんリスク・前立腺がん）

専用の器具を使い、自己採取します。治療用の薬剤（ヘパリン・ワーファリン・ウロキナーゼ等）を服用し、止血機能が低下している方は検査の申込ができません。

※次の方は正確な検査結果が出ないことがあります。

胃がんリスク：①食道･胃・十二指腸疾患で治療中の方。 ②PPI（潰瘍治療薬）を使用中の方。③腎不全や腎機能の治療中の方。 ④胃の切除を行った方

前立腺がん：前立腺や泌尿器関連の疾患で治療中の方、特定薬物（抗男性ホルモン剤など）使用中の方、長年寝たきりになっている方は正確な検査結果が出ないことがあります。



採取方法動画

歯周病リスク検診　歯周病は静かに進行します。

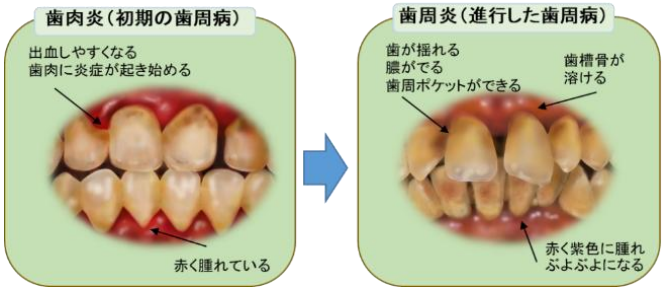


検査は簡単！
ガムをかんで唾液を採るだけ

◆自覚症状がない時こそ、お口の状態を知ることがとても重要です。

厚生労働省の「令和6年度歯科疾患実態調査」によると**成人の約半数**が**進行した歯周病にかかっている**ことが判っています。歯周病は進行すると歯周ポケット内の血管を通して歯周病菌が全身に運ばれ、糖尿病や心臓血管系疾患など、様々な病気を引き起こす危険性を高めます。

歯周病を早期に発見し、治療することで口腔内の健康はもちろん、生活習慣病の改善につながります



結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう

メスプ細胞検査研究所まで
お気軽にお問い合わせください
TEL 075-231-2230（平日10：00～16：00）
FAX 075-211-7400
メール mail@msp-kyoto.co.jp

検査機関では、受診者の方にあった病院をご紹介しています。
紹介状の作成（無料）もしていますので、
お気軽に検査機関にお問合わせください。



＊個人情報の取扱いについて
受診する方の個人情報は、本検診を提供する目的に限り利用します。また受診する方の個人情報を事前の承諾を得ず第三者に提供・開示することはありません。
なお、当健康保険組合は検査機関より受診者の検診結果について一括して報告を受け、保健指導及び当検診の総括に利用します。

【注意事項】
・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。要精密、陽性の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
・郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。